

虚偽の投稿で名誉棄損容疑、無職の匿名男を書類送検—沖縄県警沖縄署  
—安全な EM 卵に「サルモネラ菌混入」とデマ拡散—

呼吸発電(KokyuHatuden@breathingpower)というアカウント名で、EM(有用微生物群)を誹謗中傷する悪質な投稿を繰り返していたとして、沖縄県警沖縄署は、名誉棄損容疑で茨城県筑西市岡芹、無職、添田利光氏(61)を書類送検した。添田氏は主に簡易投稿サイト「ツイッター」において長年匿名でEMに批判的な投稿を「ニセ科学批判」として行っていた。

沖縄署によると、送検の容疑は、虚偽の事実を公然と摘示したことによる名誉毀損。添田氏はかねてから自宅でパソコン3台を使って、EMに関する投稿を日に何十件とツイッターに書き込んでおり、平成24年頃からは、EMや関係者に対する投稿では「カルト」、「詐欺」等とエスカレートし、悪質な虚偽の投稿やリツイートを繰り返しているほか、ツイッターを集めて公開するウェブサービス together を悪用してEMを貶める投稿を拡散してきた。

投稿内容には、「EMカルトは消えてくれ」(平成26年12月2日)、「EM詐欺」(同9月15日)、「EM教という悪質な信仰カルト教」(同10月16日)と掲載したほか、特に、EMによる養鶏場から生まれた卵がサルモネラ菌に汚染されている、とまったく事実無根のデマ情報を執拗に拡散、そのためEMに関しての風評被害がネット上に広がっていた。添田氏の投稿にあるような、EMを活用した養鶏場の卵からサルモネラ菌が検出されたという事実はなく、家畜保健衛生所が実施している定期の調査では安全が確認されている。

また、添田氏が作成した虚偽の情報が含まれる together 「EM菌と卵かけご飯」は、EMを批判する特定のグループによってツイッターで拡散され、その結果、閲覧数が7万4千件以上にのぼった。

その特定のグループには、香川県庁の属託職員で小豆島の消費者専門相談員を名乗る、yuri@syoyuri も関わっており、虚偽の情報の信憑性が高められ拡散を助長した。

添田氏は以前にも、EMの開発者である比嘉照夫琉球大学名誉教授と交流があるジャーナリストの出口俊一氏に対して、出口氏が以前所属していた独立行政法人経済産業研究所に関する国家予算数億円を横領したかのような虚偽のツイートを執拗に拡散していた。

この件では、出口氏が損害賠償請求訴訟を提起し、添田氏自身が呼吸発電というアカウント名でツイートしたことを認め、裁判所は、このような事実無根のツイートは極めて悪質なものであるとして損害賠償請求を認める判決を下している。

沖縄署の取り調べに添田氏は、その容疑を認める供述をし、自らの投稿を一部削除しているが、現在もほぼ毎日、ネット上に流れるEMに関する情報を集めてEM批判の投稿を続けており、その情報に基づいて特定のグループが、自治体や学校関係者にEMの活用をやめさせるような妨害を繰り返している。昨年、EM研究機構が沖縄署に名誉毀損罪で添田氏を刑事告訴していた。